

大会宣言(案)

本日、JR東労組八王子地本は第 25 回定期大会を三多摩労働会館にて開催し、スローガンや運動方針を含め、厳しい情勢下でも組合員の声をもとにした、たたかいの成果と課題を共有化し、職場からの実践により組織強化・拡大を押し進める運動方針を満場一致で確認した。

八王子地本は分裂・新労組結成による組合員の減少、元役員の逃亡による各機関の機能停止におかれた中、昨年 12 月再建大会を開催し、各職場に置き去りにされた組合員との繋がりを少しずつ構築しつつ、2年間の空白を埋めるために運動を展開してきた。18 春闘から止まったままの時は少しずつ動きだしている。組合員の信頼を取り戻し、更なる組織強化・拡大を行うため、再度「新生 JR 東労組運動宣言」に則り、組合員を置き去りにせず、共に歩み、常に職場現実、組合員の声をもとにした運動づくりを実践していく。

21 春闘は、要求から大きくかけ離れた「ベア 0」「昇給係数 2」で妥結した。JR 東労組は 21 春闘を「敗北」であると総括した。当初の「コロナ禍だから」「赤字だから」という諦め感から敗北に至った事を総括し、組合員の生活を守るため夏季手当等の要求に繋げた。職場からは要求根拠を明確にし、要求するのは当たり前である事を組合員と一致した。「2.0ヶ月」という回答を受け、「これでは生活できない」と言った組合員の怒りを共有化し「緊急再申し入れ」のたたかいを創り出す事が出来た。これからも組合員が安心して働ける職場環境を構築していく。

JR 東日本会社は発足以来はじめて赤字経営に直面し、「変革 2027」は、ポストコロナ時代を見据え、変革のスピードアップが目指され、様々な施策が矢継ぎ早に展開されてきている。私たちは雇用を守るため2年連続の赤字は何としても避けなければならない。しかし、労働組合として安全や労働条件を守るために、矢継ぎ早に出されている施策に是々非々で立ち向かっていく。この社会において労働者一人では立ち向かえない。だからこそ結集できる労働組合が必要不可欠であり、社友会では労働者の利益を守ることはできない。一步が踏み出せない離脱者や未加入者に、組合員一人ひとりが JR 東労組に結集させる行動が問われている。赤字経営という現実を自覚し突破していくために「雇用と職場を守るための JR 東労組緊急提言」を全組合員で実践していこう。

菅政権のコロナ対策の遅れや国民の意思とは乖離したオリ・パラ開催を強行しようとする姿勢に、国民の不信や不満は高まる一方である。私たちの生活に政治は無関係ではない。都議会議員選挙は、八王子地本で推薦した五十嵐 えりさんが当選した。今後も五十嵐さんと連携し、平和で安心して生活できる社会を目指してともにたたかっていく。

八王子地本はこれからも座談会や組合員ミーティングなどの職場運動を通じて、「私にとってのJR東労組」の確立により、労働者の労働条件を守るため、自らの将来展望と確固たる自分自身を確立し、JR 東労組の組合員であることを実感できる当たり前の労働組合運動を押し進め、組織強化・拡大を勝ち取ろう。

以上宣言する。

2021年7月17日
東日本旅客鉄道労働組合
八王子地方本部
第25回定期大会